埼玉医科大学医学部
同窓会会報

第85号

令和８年11月



巻　頭　言



同窓会副会長　**伊　藤　彰　紀**（4 期生）

秋冷の候、同窓生の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、令和 8 年の後半に起きた本邦の自然災害としては、地震と水害が印象に残りました。まず、令和 8 年 7 月 28 日に発生した最大震度 7 の熊本地震により、熊本県を中心として大きな被害が発生しました。同年 8 月 11 日の統計では、死者 39 名、負傷者 396 名、住宅被害 10,789 件 と大きな被害が報告されました。同窓会では、事務局より熊本県在住の同窓生に連絡をとり、被害状況を確認しましたが、幸いに同窓生の人的被害は確認されず安堵しました。ただし、診療施設の水道・ガスなどのライフラインの停止、一部施設の破損などの被害の報告がありました。熊本地震の被災地では最高気温が 40 度以上の酷暑日が続き、車中泊の避難者が熱中症疑いで死亡するなどの問題も生じました。今回のような真夏の熊本地震の教訓を生かし、真夏の災害時の冷房対策や、逆に真冬に災害が起きた場合の暖房問題などを考慮し、政府は冷暖房器具の備蓄拠点を配備する方針を決定したようですが、今後の災害対応として不可欠な対策と考えられます。

次に令和 8 年 8 月 13 日から 14 日にかけて、千葉県では線状降水帯に伴う記録的な豪雨が発生し、各地で浸水被害が発生しました。今回の豪雨では、自動車の浸水や地下の浸水など、都市型水害が発生した点が特徴的でした。豪雨で道路が冠水している場合の車の運転には、より慎重な対応が必要であることを再認識しました。同窓会の事務局より千葉県支部に連絡を取らせて頂きましたが、聴取し得た範囲では同窓生の被災の情報はありませんでした。

続いて、9 月 20 日から 21 日にかけて千葉県を襲った台風 25 号の被害も甚大なもので、台風の豪雨の影響で北印旛沼の水位が上昇し二箇所で決壊し、決壊範囲はそれぞれ 100m にも及んだようです。大きな湖水の決壊で、住宅の浸水や水田に大きな被害がでました。千葉県内では約 7600 軒で停電、1800 戸以上で断水被害が発生しました。この台風 25 号による同窓生の被災状況につきましても千葉県支部の先生にご連絡を取らせて頂きましたが、北印旛沼周辺の同窓生の居住はないようで安心致しました。

海外に目を向けますと、本年 8 月 26 日にネパール・中国の土石流についてのニュースが報道されましたが、ヒマラヤ山脈での氷河崩壊を原因とする鉄砲水と土石流と考えられているようです。報道された土石流のビデオ映像と、死者 1,400 人以上、負傷者 9,000 人以上、行方不明者が 6,600 人以上という未曽有の被害には驚愕しました。海外のこととは言え、早い復興を期待したいと思います。

今回の地震や水害の被災状況についての繰り返される報道を見るにつけ、自然災害に対する対策を常に考えておく必要性を痛感します。さらに、病院のような患者さんをお預かりする医療施設では地域のハザードマップなどを確認すると共に、自然災害に対する患者誘導やライフラインが停止した時の対応を念頭に置くことが必要と思います。同窓生の皆様にはくれぐれもお気をつけ頂きたいと思います。

次に話は変わりますが、最近気になるニュースがありました。財務省の財政制度分科会が今年 4 月に提出した資料では、医師需給推計によると医師数は 2029 年から 2032 年の間で需給が均衡し、その後過剰になることが既に確定的であるとし、医学部の大胆な定員削減に踏み切るべきと主張しています。財務省が定員削減を求める最大の根拠は、医師過剰による医療費増大にあることは言うまでもありませんが、医療提供体制についても診療所も含めた地域単位での外来機能の統合・大規模化や医療機器共同調達化、報酬の包括払い化も財務省は求めています。ドクターが過剰となり医療施設も増え、今以上に過当競争が激しくなることは必至ですが、個人事業主として我々がきめの細かい地域医療を続けて行くためには、国の医療政策の方向性を適宜注視し、今後どのように対応して行くべきかを考えて行く必要があるようです。

ところで、最近の大学の話題としては令和 8 年春に毛呂山キャンパスにおいて新・食堂棟が完成しました。1 階と 2 階は学生、医師、メディカルスタッフの食堂、3 階はユーティリティースペースで主に学生の自習室として使用、4 階と 5 階は新・錬成館（剣道部、

空手部、柔道部などの武道場）という構成になっています。以前使用していた旧・錬成館が老朽化で使用できなくなっておりましたので武道の部活としては待望久しい施設であります。同窓会としましては、この施設の開設にあたり、大学へのご協力をさせて頂きました。学生への福利厚生で大学に更にお願いしたいこととして、川角キャンパスの体育館が老朽化しておりますので、体育館の改修あるいは建て替えを期待したいと思います。体育館の空調が悪いため、特に夏には扉や窓を開けて換気を取りたいのですが、体育館周囲に虫が大量発生しており、それが体育館に入り込んで練習にならないようです。体育館を使用している部活のOG、OBの同窓生からもしばしば要望の声をお聞きします。

さて、同窓会の目的は同窓生同志の情報交換や親睦のみならず、埼玉医大への貢献も大切な活動の一つです。大学の発展を支え、それにより後輩の学生達への貢献も行って行きたいと思います。このような同窓会の思いが、開校50周年を迎えた埼玉医大の伝統になっていると思います。同窓生の皆様には引き続き同窓会活動にご協力をお願い申し上げます。

巻頭言の最後になりますが、同窓会のホームページをリニューアルし令和8年10月1日に正式アップ致しました。大変明るく見やすいホームページになりました。落合記念賞研究助成金の申請、海外留学奨励助成金の申請、産業医講習会のご案内、大学のオープンキャンパスご案内、過去の同窓会報の抜粋などを始め、同窓生のドクターズマップなどもお役に立つことがあると思います。皆様には是非リニューアルしたホームページにもお立ちよりください。尚、一般サイトから会員サイトに入るID、パスワードをお忘れの方は、お手数ですが同窓会事務局にメールでお問い合わせください。

✉ dosokai@saitama-med.ac.jp

